

川中だより

令和7年3月25日(火)発行
新発田市立川東中学校
学校だより 第12号
TEL (25)2011 FAX (25)2022
<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>

去る3月4日(火)21名の3年生が卒業しました。今年の卒業式では、新発田市長の二階堂馨様を始め、多くの「来賓の皆様をお招きし盛大に卒業生の門出を祝うことができました。改めて卒業式にご参列いただいた皆様を始め、これまで多くの教育活動にご支援いただいた保護者や地域の皆様に深く感謝申し上げます。

この卒業式の式辞で、校長の私が卒業生に向けて伝えたメッセージを一部紹介します。

卒業生の皆さんがこれから生きていく時代は、予測がつきにくい難しい時代が来ると言われています。だからこそ、誰かに言われて行動するのではなく、自分自身が「こうなりたい」「こうしたい」という強い意志をもち、失敗を繰り返しながらも果敢に挑戦し続けていくことが重要になってきます。

この川東中学校で経験した「自ら行動すること」をこれからも忘れず、どんどん挑戦していったほしいと願っています。

さて、私が式辞で話したように、最近よく「これからの時代は予測がつきにくい時代になる」という言葉が多く聞かれるようになりました。それはなぜでしょうか？

これまでも、家庭用のコンピュータが開発された時、インターネットが各家庭で当たり前に使われるようになった時、携帯電話やスマートフォンが広く普及された時など、時代時代で技術革新が行われ、その度に日本人の…世界中の人々の生活ががらりと変わってきました。

しかし、この数年はAIが開発され、今まで人間にしかできなかったような仕事を機械やコンピュータができるようになってきたことから、上で述べたようなことが盛んに言われるようになってきました。そのAI技術革新により、人間が行ってきた多くの仕事が「自動化」され、人にしかできない仕事が減り、機械が行う仕事がより一層増えていく。そのおかげで、少子化も含めた人材不足を補うことができるようになる一方、自動化される仕事はどんどんなくなっていくという心配もされています。

だからこそ、「命令されたことをひたすらこなす」だけでは機械に仕事を奪われてしまう可能性があり、流動的でマニュアル通りにいかない問題が発生した時には、解決策を自ら考え、仲間と相談しながら何が最適解かを導き出し、次々と変化する問題に対して対処していく能力が求められるのではないかと思います。

これまでも、川東中学校では生徒が自分達の手で話し合い、アイデアをもち寄って「より良い学校」を作ることを教職員一同支援してきました。これは、上で述べたようなスキルを身に付けてほしいという願いが込められています。これまでと同様、そういった生徒達の主体性を大切にしながら、学校運営を行ってまいります。時には失敗もあるかと思いますが、保護者・地域の皆様からも温かい目で見守っていただき、応援していただければ幸いです。